

保護者の願い

国会議員の先生方には、平素より私学教育の振興、発展のためにご尽力を賜り、心より御礼申し上げます。また本日は大変ご多忙の中、ご臨席いただきまして、誠にありがとうございます。

新型コロナウイルス感染症がこの5月より5類感染症に移行し、子供たちは、これまでの学校生活を取り戻しています。しかし地方では、日本経済は低迷し、人口減少、少子高齢化が深刻化する中で、子供たちには予測困難な課題に対応する力を身につけることが求められます。

また昨今、国際情勢は不安定さを増し、国内では諸物価の高騰など、私たちの家計にも少なからず影響を及ぼしています。

これまで、年々私学助成の拡充が図られるとともに、国の就学支援金制度等の拡充により、保護者の教育費負担の軽減が図られてきました。

しかしながら、経常費助成に係る生徒等1人当たり単価は、都道府県間で格差が拡大し、国の就学支援金は、世帯年収590万円を境に大きく格差が生じており、都道府県独自の上乗せ支援によってその開きはさらに拡大しています。これらの格差の是正と保護者の教育費負担の軽減には、私学助成や就学支援金の大幅な増額が必要不可欠です。

子供たちが主体的に、幅広く深い学びを実践し、自分の進路をたくましく切り拓き、将来社会の担い手として活躍できるように成長することが、私たち保護者の何よりの願いです。

私たちは、世帯年収や居住地にかかわらず、子供たちが、自ら選択した私立学校で、等しく質の高い教育を受けることができるよう切に願っております。

本日もご臨席の国会議員の先生方には、令和6年度私学関係政府予算の編成にあたり、私立学校と保護者、そして何よりも子供たちのため、教育のデジタル化の基盤となる1人1台のパソコンの配備や学校の施設設備の整備をはじめとする教育環境の一層の充実と、保護者の経済的負担の軽減を目指し、格別のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和5年11月1日

令和5年度私学振興全国大会 保護者代表

兵庫県私立中学高等学校保護者会連合会 吉村 美緒